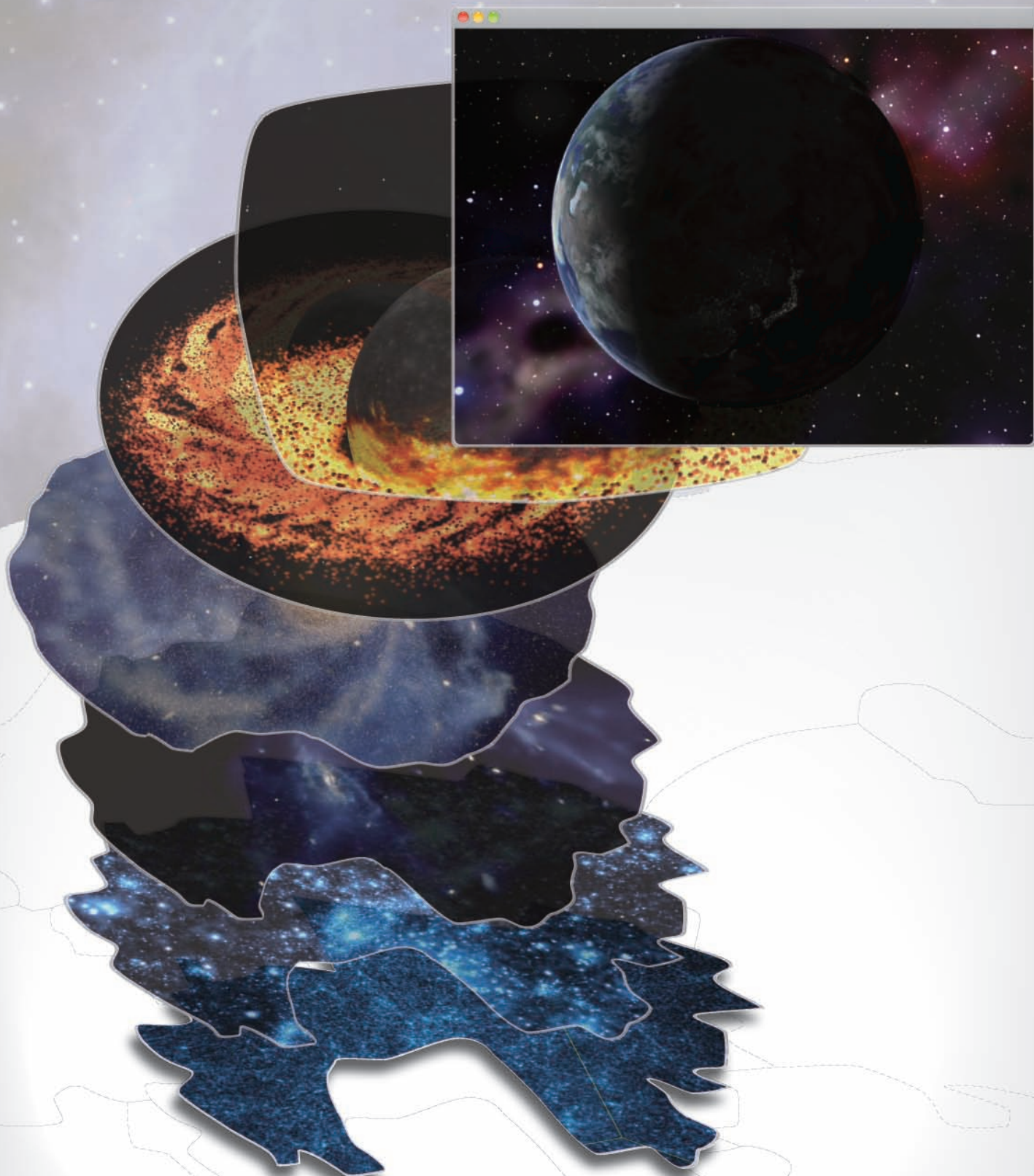


平成 19 年度科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点の形成」
「宇宙映像利用による科学文化形成ユニット」第 1 回シンポジウム

地域再生における宇宙映像等の科学資源の活用



2007年 11月 13^火 14^水 15^木

会場：国立天文台三鷹キャンパス

解析研究棟 大セミナー室 他

主催：宇宙映像利用による科学文化形成ユニット

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台 / 三鷹市



プログラム

大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台は、三鷹市と連携して、平成 19 年度より文部科学省科学技術振興調整費「地域再生人材創出拠点形成」に採択され、「宇宙映像利用による科学文化形成ユニット」を実施する運びとなりました。本事業は、国立天文台が所有する 4 次元デジタル宇宙映像やすばる望遠鏡の画像等の研究資源を他研究分野や映像文化において、次世代映像として活用する人材の養成を目的としています。国立天文台の研究成果でもある技術が付加価値の高い映像制作と結びつき、三鷹市が国際的な 3 次元映像コンテンツ発信地域として活性化するとともに、天文学をはじめとする科学文化の形成が、市民生活の質の向上に貢献することをめざすものです。

本事業の本格的な開始にあたり、宇宙映像・画像等のコンテンツ利用に関する国立天文台の今までの経過を紹介し、地域再生をめざす取り組みに向けた議論の場として、第 1 回シンポジウムを開催いたします。

従来から国立天文台に関わってこられた皆さんにはもちろんのこと、広くコンテンツ産業界の皆さんにも、ぜひ積極的にご参加いただき、本シンポジウムが宇宙映像等の科学資源の活用に関する新たなアイデアを出し合う場になることを願っています。



大学共同利用機関法人
自然科学研究機構国立天文台
台長 観山正見

最新天文学の成果



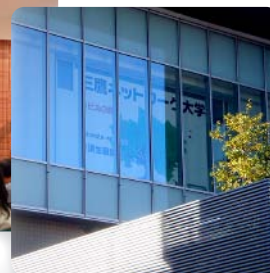
日本における天文学の中心として国立天文台が保有している 4 次元デジタル宇宙プロジェクト（略称：4D2U）、すばる望遠鏡の研究成果、様々な宇宙映像コンテンツなど、これらの知の集積を地域の活性化に活かす

国立天文台



三鷹市

地域との連携



NPO 法人三鷹ネットワーク大学推進機構との連携、三鷹市およびその周辺に集積しているコンテンツ産業系企業や SOHO 事業者等の協力を通じて、民学産公（市民、教育・研究機関、企業・NPO、自治体）と協働する

宇宙映像利用による 科学文化形成ユニット

科学映像クリエイター

付加価値の高い映像コンテンツ制作が可能な人材育成

科学プロデューサー

宇宙映像の利活用によるコミュニティ・ビジネス

科学による地域再生

「立体映像と科学文化の街・三鷹」三鷹市とその周辺地域が、3 次元映像を基礎とした次世代映像コンテンツ産業の拠点として、全世界から注目される産業の集積となることを目標に、宇宙映像を始めとする科学映像の活用を特色とする知の拠点の形成によって、地域再生への貢献をめざす。

三鷹市と近隣に集積するアニメーション等の映像コンテンツ産業系企業等への科学技術の活用映像技術の移転による地域産業の活性化

科学文化を活かした新規コンテンツ事業を創出し、地域ニーズにあわせた事業展開による「コミュニティ・ビジネス」を媒介にした地域の活性化

人材養成ユニットは、科学技術を活用した地域再生に資するため、地域の大学等が地元自治体等と連携し、地域のニーズに即した人材創出拠点の整備を図る科学技術振興調整費「地域再生人材創出の拠点」プログラムに採択されて、平成 19 年度より 5 年間にわたって実施される。ユニットの運営は、国立天文台天文情報センターを中心に、三鷹市および連携機関、大学、企業等と連携しつつカリキュラムを実施する。

ユニットの 人材養成

コース C 科学映像クリエイター Creator

付加価値の高い映像コンテンツ制作によって国際競争力のある 3 次元映像コンテンツ発信地域の創成に繋がる高度な人材育成

実習形式の OJT 型講座を開催して、立体映像コンテンツを制作できる人材を輩出する。三鷹市およびその周辺地域に集まる技術力のある企業、東京工科大学、武蔵野美術大学等の大学と、三鷹ネットワーク大学をハブとして連携し、人材育成に取り組む。高い可視化技術を持つ研究者、地場産業であるアニメーション、映画、IT コンテンツ、ゲームソフト等において次世代映像コンテンツ産業を担う人材育成が見込まれる。

平成 20 年度よりコース開講予定

コース P 科学プロデューサー Producer

天文学など真正の科学リソースを、新たに社会で広く利活用し起業、産業化、ビジネス化への橋渡しができる人材育成

科学を基盤とし、地域ニーズに合った新規事業を起業できる力をつけた人材の輩出を目指す。三鷹ネットワーク大学推進機構と連携した講座カリキュラムを実施し、ベンチャービジネス力、科学コミュニケーション力、基礎的な科学力の養成に取り組む。科学資源を社会で利活用できる新たな起業者の育成、観光・教育・少子高齢化などの地域ニーズに貢献しうるコミュニティ・ビジネス人材を育成する。

平成 19 年度よりコース開講中

13時00分 開会挨拶

国立天文台長 観山正見

13時15分 挨拶

三鷹市長 清原慶子

13時30分 概要説明『科学技術振興調整費の概要について』

独立行政法人科学技術振興機構プログラムオフィサー 山下博之

休憩(14時00分～14時10分)

セッション1 宇宙映像利用に関する国立天文台の取り組み

14時10分 『4次元デジタル宇宙プロジェクトの成果と今後の展開』

国立天文台4次元デジタル宇宙プロジェクト・准教授 縣 秀彦

14時55分 『国立天文台における知財流通の実際』

国立天文台天文情報センター長・准教授 渡部潤一

【セッション1 質疑応答(15時40分～16時00分)】

休憩(16時00分～16時10分)

セッション2 科学文化とまちづくりへの視点

16時10分 『天文台のあるまち三鷹での地域再生』

三鷹市企画部企画経営室長 伊藤幸寛

16時40分 『「NPO 法人小さな天文学者の会」とやまがた天文台での活動』

山形大学教授 柴田晋平

17時10分 『天文学と観光～民学産公の連携から～』

和歌山大学学生自主創造科学センター長・教授 尾久土正己

17時40分 『科学フェスティバルとまちづくり～海外の事例から～』

はこだて未来大学教授 美馬のゆり、科学技術政策研究所 渡辺政隆

【セッション2 質疑応答(18時10分～18時30分)】

休憩(18時30分～19時00分)

セッション3 Astronomy Night[※]

第1会場

4D2U ドームシアター

4D2U 成果映像の紹介ほか

4D2U チーム、宮木朝子ほか

19時00分 4D2U デモンストレーション

(整理券 A)

19時45分 宮木朝子・三浦均トークショー

「ミュージアムとサイエンスが会える時」

20時30分 4D2U デモンストレーション

(整理券 B)

第3会場

観望会(4D2U ドームシアター前)

星のソムリエみたか

第2会場

4D2U 3面シアター

mitaka 実演例の紹介ほか

やまがた天文台「劇団四次元」

19時00分「神話めぐりの旅」

19時45分「神話めぐりの旅」

20時30分「空に輝く天の川を求めて」

第4会場

アストロノミー・パブ(ドームシアターロビー)

パブタイム、軽食と飲み物

※ Astronomy Night には参加申込(軽食代1,000円)が必要です。名札に星シールの参加章が無い方は、受付でお申し込みください。

終了(21時00分)

セッション4 プロジェクトの全体像について

- 10時00分 『「宇宙映像利用による科学文化形成ユニット」でめざすもの』
国立天文台天文情報センター普及室長・准教授 縣 秀彦
【質疑応答(10時20分～10時30分)】
- 10時30分 特別講演『科学と社会』
総合研究大学院大学教授 池内 了
- 11時30分 『「科学文化でまちづくり」をめざす三鷹市の人財育成』
NPO法人三鷹ネットワーク大学推進機構事務局長 内田 治
【質疑応答(11時50分～12時00分)】
- 休憩(12時00分～13時00分)

セッション5 科学映像の現在と未来

- 13時00分 『進化するメガスター』(仮題)
プラネタリウムクリエイター 大平貴之
- 13時30分 『CG業界における科学映像の現状と、最新技術トレンドの紹介』
株式会社エクサ/シーグラフ東京委員長 安藤幸央
- 14時00分 『科学技術館4次元ドームシアター「ユニバース」について』(仮題)
(財)日本科学技術振興財団参与 山田英徳
- 14時30分 『デジタル化するプラネタリウムとドーム映像』
(株)五藤光学研究所 西村 久
- 【セッション5 質疑応答(15時00分～15時20分)】
- 休憩(15時20分～15時30分)

セッション6 科学映像クリエイターを育てる

- 司会：三浦 均(武蔵野美術大学准教授)
会場：大セミナー室(予定)
- 15時30分 国立天文台 小久保英一郎・武田隆顕
16時00分 可視化エンジニア 高幣俊之
16時30分 美術家 小阪 淳
17時00分 東京工科大学 三上浩司
17時30分 【セッション6 質疑応答・意見交換】
18時30分 まとめ・終了

セッション7 宇宙プロデューサーを育てる

- 司会：永井智哉(国立天文台天文情報センター)
会場：院生セミナー室(予定)
- 15時30分 読売新聞科学部 保坂直紀
16時00分 科学番組プロデューサー 西谷清治
16時30分 江戸川大学教授 境真理子
17時30分 【セッション7 質疑応答・意見交換】
18時30分 まとめ・終了

休憩(18時30分～19時00分)

【懇親会[※](19時00分～20時30分・コスモス会館食堂)】[※]懇親会には参加申込(参加費2,000円)が必要です。名札に赤いシールの参加章が無い方は、受付でお申し込みください。

セッション8 まとめ

- 10時00分 セッション6 報告(武蔵野美術大学准教授 三浦 均)
10時30分 セッション7 報告(国立天文台天文情報センター 永井智哉)
【全体について意見交換・質疑応答(11時00分～11時50分)】
- 11時50分 閉会挨拶
国立天文台副台長 福島登志夫
- 12時00分 閉会